

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 12 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 10 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 21 日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 21 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	細かいアセスメントを行い、より詳細な分析を行うよう努めている。	客観的な分析が行われるように日々振り返りを行い、子どもの姿をとらえるように取り組んでいる。	子ども一人一人についての話し込みをして、よりよくアセスメントをとれるように、スタッフ間のコミュニケーションもとっている。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価が行われず、評価を業務改善につなげることが出来ていないこと。	社内で検討事項として挙げており、取り組んでいくよう検討しているがなかなか話が進まない。	他事業所と連携を深めながら、評価の依頼をするように努めていく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センター そだち

公表日 令和7年 2月 25日

利用児童数 令和7年 2月 28日現在 回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 2月 25日

こども発達支援センター そだち

利用児童数

令和 7 年 2 月 28 日現在

回収数

1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○			その場で具体例を使って説明して下さり分かりやすかった。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○			実践を通して知識、技術を教えて下さり、更なる学びの向上心につながった。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	○			適時回答して下さり、保育に生かすことが出来た。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○			園での課題や困りごとに対し、いつも親身になって聞いて下さり助かった。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	○			こどものことを一番に考えて下さり感謝している。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>実際の関わり方を、当園職員と同じ目線となって示して下さったことで、安心して受け入れていくことが出来た。</p> <p>訪問支援を通しての助言や励ましに感謝している。</p>					<p>課題や困り事に対しての回答、助言等を快く受け入れ、熱心に話を聞いて下さり嬉しく思う。</p> <p>今後も課題等、子どもについての情報共有をし、支援の充実を図っていきたい。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援センター そだち		令和7年 2月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		まだ少人数のため現時点では適切。	訪問先（対象者）が増えた場合は、職員の配置や時間の設定等の工夫が必要かと思う。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表も活用しているが、保護者との面接など日頃のやり取りの中で意向の確認に努めている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や日々の振り返りにて共有作業を行っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者の外部評価については検討中であり、今後構築していく。他事業所との連携を深めながら、評価を依頼出来るよう努めていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内の研修計画に盛り込んでいる。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		客観的な分析に課題はあるが、細かいアセスメントを行いより詳細な分析ができるよう工夫している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問時や別日に支援会議等を開催し、園側、担任とのコミュニケーションに努めている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		社内研修でもガイドラインについて学ぶ機会を設けている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議以外のタイミングでも日々支援内容について気づいたことは共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		初回の担当者会議及び必要に応じて園側との支援会議を実施し、すり合わせをしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当保育士、児発管、主任、管理者等、スケジュールに合わせてなるべく出席するよう工夫している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		自治体の担当課、協議会への参加などで、支援の現状や改善点など話し合いながら進めている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援会議を開催し情報共有、相互理解を大事にしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		協議会の児童部会への参加を積極的にしている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今のところ情報提供、当事業所においてご家族向け研修の企画、開催をしている。	自治体と協力してペアトレの開催の検討をしている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回の担当者会議及び必要に応じて園側との支援会議を実施し、すり合わせをしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		発達相談、サービス内容、子育てについてなど、定期および要望があった際には優先的に対応している。	今後も保護者からの相談には、迅速かつ丁寧に対応していく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページや毎月の通信にて案内している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人全体、事業所（児発センター）としての個人情報取り扱いの規定等を主軸として取り組んでいる。	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		園長、担任等参加の上毎回行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人全体、事業所（児発センター）としての個人情報取り扱いの規定等を主軸として取り組んでいる。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		園の方針や状況に応じた対応や、保育士目線でのクラス運営、児童への取組等納得できるまで話している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		法人全体、事業所（児発センター）としてのマニュアルを主軸として取り組んでいる。	今後も訓練を行っていき、実施後は保護者に発信する機会を増やしていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人全体、事業所（児発センター）としての安全計画を主軸として取り組んでいる。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体、事業所（児発センター）としての研修計画を主軸として取り組んでいる。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		法人全体、事業所（児発センター）としての委員会や研修計画を主軸として取り組んでいる。	